

地域医療公開研修会

検査技術セミナー

2020年

2月19日（水） 17:30～18:30

場 所：大津赤十字病院 外来棟8階 A・B会議室

ご参加
お待ちしております
おります



基準値について ～その理解を深めよう～

検査データの国際ハーモナイゼーションの観点から、日本臨床化学会（JSCC）は、血清ALP、血清LD活性測定法を国際臨床化学連合（IFCC）基準測定法に変更する事を求めています。測定法の変更により、血清ALP活性の基準値も変更となります。本セミナーでは、改めて基準値について考えてみたいと考えています。

『臨床検査結果の標準化と 共用基準範囲について』

講師 **オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス
テクニカルサポートセンター**

木次 克彦 先生

【内容】

臨床検査の結果は、臨床診断を行うための非常に重要な情報である。そして、臨床検査の方法は、新たなマーカーの発見や技術の開発・改良により目覚ましい発展を遂げている。検体検査のうちでも標準化が実現されている生化学的検査においては、検査値判読の目安ともいえる基準範囲を設定しやすい特性があるが、この基準範囲は検査法の違い、基準範囲設定集団の違い等により、どこでも共通に利用できない可能性がある。そこで、昨今導入され始めたのが“共用基準範囲”と呼ばれるものがある。

また、免疫学的検査項目においても世界の趨勢に合わせる動きが始まっている。

これらについて解説したい。